



明治時代の大鳥居の写真

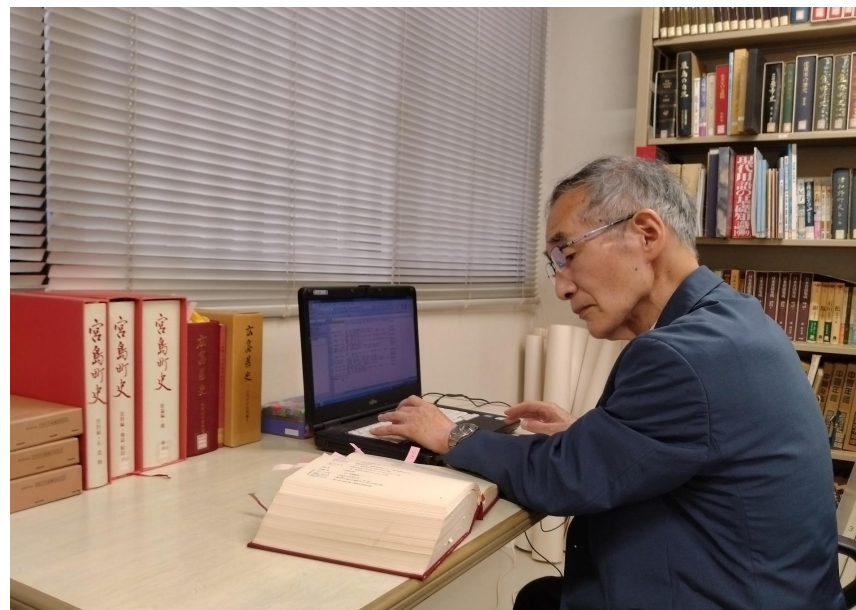
令和8（2026）年度

「宮島の歴史」編さん 本格開始

「世界遺産としてその『自然』『文化』『歴史』の重要性が認められ、国内外に発信されるべき、そして今後とも人類に伝えていくべき価値」を明らかにするため、「**宮島の歴史**」を編さんします。

【基本姿勢】

- 1 基本的人権の尊重
- 2 廿日市市全域のほか、周辺地域の資料収集、調査、研究を
- 3 平易な文体、写真や図表で理解しやすい表現に
- 4 印刷媒体以外にも電子媒体を活用
- 5 資料の計画的な整理・保存・公開と今後の調査研究や、市民活動 まちづくりなど広く市民等の活用に
- 6 史実に立脚した公正・中立的な記述内容に



専門部会による刊本調査

【事業概要】

〔事業期間〕

令和8年度から17年度までの10年間

〔刊行構成〕

先史から現代までを取り扱う通史編と通史編の根拠となる資料編
その他の刊行物

〔刊行計画〕

令和11年度 資料編(先史・古代・中世)

令和12年度 資料編(近世)

令和13年度 資料編(近現代)

令和15年度 通史編(先史・古代・中世)

令和16年度 通史編(近世)

令和17年度 通史編(近現代)

〔令和8年度の事業概要〕 令和8年度事業費 689万4千円

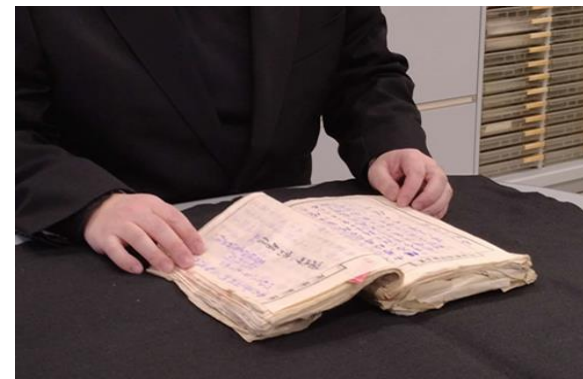
各種委員会の開催、専門部会による資料調査

収集資料調査、資料調査フィルムデジタル化

目標寄付額 500万円



デジタル化対象資料



専門部会による資料調査

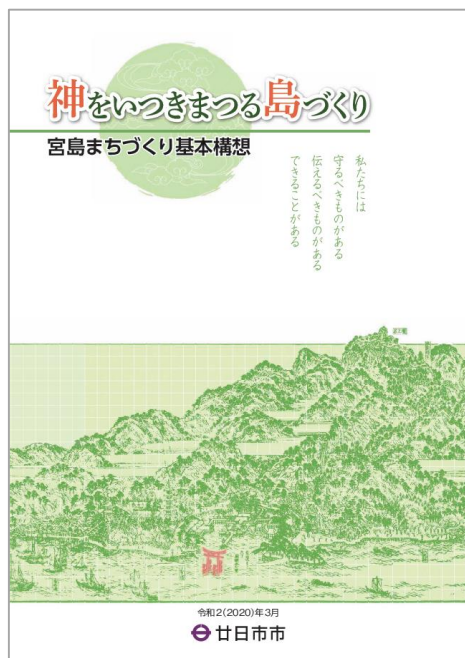
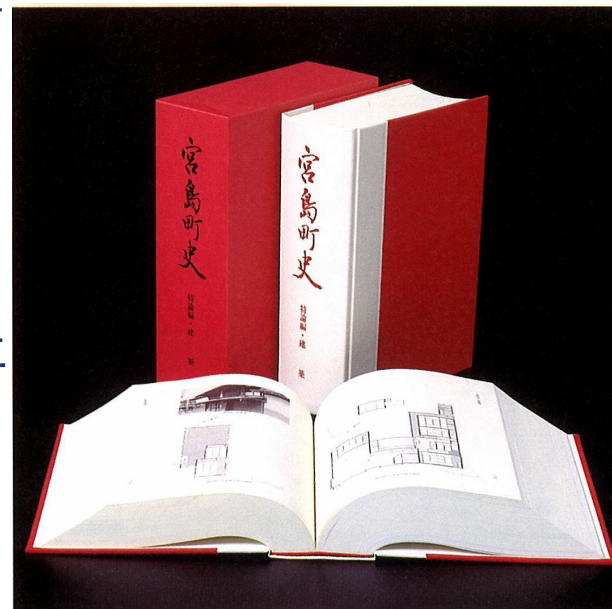
【経緯】

昭和55(1980)年 旧宮島町、宮島の自然・文化・歴史を後世につなぐため、宮島町史編さん事業に着手

平成4(1992)年 「資料編・地誌紀行Ⅰ 近世地誌」を刊行

平成6(1994)年 「資料編・石造物」を刊行

平成9(1997)年 「特論編・建築」を刊行したが、これを最後に編さん事業は休止



令和2(2020)年 「宮島まちづくり基本構想」に中長期的な取り組みとして位置づけ

令和7(2025)年 **新たに「宮島の歴史」**に着手するため、宮島の歴史編さん準備室を設置し、「宮島の歴史」編さん基本方針を策定

令和8(2026)年 **「宮島の歴史」**編さん事業を本格開始